

② 発掘調査の成果

熊本城跡における発掘調査は、報告されているものとしては昭和 35 年に実施された藤崎台県営野球場建設に伴う部分的な遺構確認調査が一番古いものである。その他にも昭和 30 年代には大小天守や櫓の再建、県営熊本城プール、県立第一高校、熊本地方合同庁舎等の施設が旧城域内に建設されたが、本格的な発掘調査は実施されていない。

昭和 43 年に県立第二高校が現在の二の丸公園から移転したのを契機に 50 年代初めにかけて二の丸、三の丸の整備が重点的に行われた。その中で県立美術館、市立熊本博物館の建設、二の丸及び三の丸の公園化に伴う発掘調査が実施され、国・県施設分は県教委、その他については市教委が行うようになった。

昭和 57 年に「特別史跡熊本城跡保存管理計画策定報告書」が策定され、以降は本書に則した形で整備・復元が行われるようになる。整備・復元に先立ち発掘調査を行うことも定例化し、昭和 58 年の数奇屋丸復元整備、昭和 64 年からの西出丸整備、それ以降の飯田丸復元整備、本丸御殿復元整備などに伴う本格的発掘調査が行われている。また、石垣整備でも発掘を伴う事前調査が定例化している。

